

事務事業名		支えあいまちづくり事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																								
政策体系	政策名	04: 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間	予算科目 会計 款 項 目 事業 01 03 01 03 72																							
	施策名	12: 地域福祉体制の構築																											
	基本事業名	01: 自立を支える地域福祉推進体制の充実																											
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 13 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入																								
所属	部課名	保健福祉課																											
	係 名	福祉推進係	電話	27-3111																									
			内線	181																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・平成13年度から15年度までの県補助事業の福祉コミュニティ形成促進事業が終了し、平成16年度から社会福祉協議会でのふれあいのまちづくり事業に移行し、地域福祉事業の充実を図り、要支援高齢者等の見守り活動、相談事業を実施した。平成17年度は、市が事業主体となって「地域福祉ネットワーク事業」を実施した。21年度から、補助名称の変更により「支えあいまちづくり事業」に変更した。 ・主な業務は、各種相談等による福祉ニーズの把握(月曜日10時から15時まで市内2箇所専門の相談員による「心配事相談」)、住民座談会開催による福祉活動についての住民への啓蒙活動、地域におけるボランティア活動に関する相談・登録斡旋・および養成研修、住民に対する福祉活動についての理解促進のための広報活動(社協だより)、住民参加の福祉活動(一人暮らし高齢者を訪問する見守り活動、毎日のひきこもり防止のための三陸地区の地域公民館での手芸・音楽などのふれあいサロン活動等)の支援。 ・事業費は、2分の1が国庫補助金で、社会福祉協議会への委託費として支出される。																													
全体計画(期間限定複数年度のみ) <table> <tr> <td rowspan="6">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A) + (B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A) + (B)		0
総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計 (A)	0																											
人件費	正規職員従事人数																												
	延べ業務時間																												
	人件費計 (B)	0																											
トータルコスト(A) + (B)		0																											

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
	名称	単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)	ア 座談会実施回数	回
各種相談、住民座談会、ボランティア活動に関する相談・登録斡旋・および養成研修、広報活動(社協だより)、住民参加の福祉活動(見守り活動、ふれあいサロン活動等)	イ 養成講座実施回数	回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	ウ 社協だより印刷配布部数	部
昨年度と同じ。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 (直接の対象)・社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会 (間接の対象) ・市民・地域の心配事のある市民、高齢者	カ ボランティア団体数	団体
	キ ボランティア登録人数	人
	ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・地域福祉の活動を理解してもらい、できるだけ多くの市民に実際に福祉ボランティア活動をしてもらう。 ・市民の心配事や悩み事の相談に乗り、精神的な負担を軽減する。 ・ひきこもりや認知症を予防する。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
	名称	単位
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・ノーマライゼーション理念を正しく理解してもらう。 ・積極的に自立を支える活動をしてもらう。	サ ボランティア養成講座受講者数	人
	シ 座談会参加者数	人
	ス ふれあいサロン活動参加者数	人

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業費内訳	単位	千円			3,000			
			円						
	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円		6,000	5,644	3,000	6,000	5,000	5,000
	事業費計 (A)	千円		6,000	5,644	6,000	6,000	5,000	5,000
	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間		10	10	10	10	10	10
	人件費計 (B)	千円		40	40	40	40	40	40
	トータルコスト(A) + (B)	千円		6,040	5,684	6,040	6,040	5,040	5,040
活動指標	ア	回		8	7	8	8	9	8
	イ	回		22	17	17	16	17	17
	ウ	部		12	12	12	12	12	12
対象指標	カ	団体		34	34	35	35	33	33
	キ	人		1028	1048	1078	1080	1185	1185
	ク								
成果指標	サ	人		287	174	149	155	140	87
	シ	人		250	261	190	130	178	197
	ス	人		1526	1563	1531	1429	1555	1266

事務事業ID	1368	事務事業名	支えあいまちづくり事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
平成13年度から県委託事業で、福祉コミュニティ事業を創設したため			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
平成13年度から15年度までの県補助事業の福祉コミュニティ形成促進事業が終了し、平成16年度から社会福祉協議会でふれあいのまちづくり事業に移行し、地域福祉事業の充実を図り、要支援高齢者等の見守り活動、相談事業を実施した。平成17年度は、市が事業主体となって「地域福祉ネットワーク事業」を実施した。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
この事業の主要事業である、ふれあいサロンは議会でも現在三陸地区のもの実施であるが、高齢者のひきこもり防止に役立つ事業なので、ぜひ大船渡地区でも実施した方がよいという意見が出ている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	ふれあいサロンや各種相談事業は地域福祉事業を推進する主要事業である。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	県補助事業であり、市が社会福祉協議会へ委託して実施している。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	ふれあいサロンや各種相談事業は地域福祉事業を推進する主要事業である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	よりよい成果をあげるためには、メニュー等の工夫、研究の余地がある。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	ふれあいサロンや各種相談事業は地域福祉事業を推進する主要事業であるため継続する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 社会福祉協議会運営での事業に含める。 ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 社会福祉協議会運営費は市単独事業であり、この事業は、県補助事業であるため。 ☐ 他に手段がない [理由]	社会福祉協議会運営での事業に含める。
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	ふれあいサロンや各種相談事業は謝金を支払っており、事業費を削減すると、回数を削減することになり成果が下がる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	ふれあいサロンの各種材料代は出席者負担となっている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	

事務事業ID	1368	事務事業名	支えあいまちづくり事業
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 見守り活動や、ふれあいサロン活動を通して高齢者の社会との関わりに大きな役割を果たしている。県補助である。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 今後も、継続して事業実施していく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	保健福祉課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 地域の実情に応じた事業を、社会福祉協議会に委託して実施しているが、今後も、ニーズにあった事業を展開する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項